

ルテル学院報 Luther No.4

高校3年生

修養会ワールドワークにて

(6月27日 阿蘇)



寄り添い、喜びと共に生きる

～いじめ・体罰を考える～



校長 林田 博文

学院の使命は、キリスト教主義に基づく愛の教育、建学の精神「感恩奉仕」の具現化です。思いやりの心を育て、一人ひとりを大切にすることです。

昨年12月、大阪で尊い若い命が奪われ、体罰といじめが社会的な問題となりました。

私たちは、この事実を厳粛にしっかりと受け止め、二度とこのような悲劇がないように取り組まなければなりません。

学校(教育現場)は夢と希望を共に語り、実現するところです。また今の試練と困難を未来への夢と希望につなげる場所、さらに夢の実現に向けて希望の光が見えるよう、子どもたちと教師、保護者と学院がひとつとなって取り組むところです。

「教えるとは、共に希望を語ること、学ぶとは、誠実を胸に刻むこと」(ルイ・アラゴン)、いつも自分の心に刻み大切にしている言葉です。

私たちは、子どもたちとの関わり合いの中で互いに信頼し、寄り添いながら教育の業に励まなければならぬと考えています。子どもの本能的な言動をたくましさで勘違いして許容したり、子どもを叱らないことが子どもを大切にすることだと考えたりすることはないか自問自答すべきです。きびしさも大切ですが、憎しみやのろいや冷酷さを育てるようなきびしさや体罰はどんな場合にも避けるべきで決してあつてはいけないことと考えています。

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙/12章 15節)」

私たち学院の教職員自身が子どもたちに範(モデル)を示し、道しるべとなり、子どもたちがぬくもりと温かみを感じながら、未来の夢と希望、そして、喜びにつながるよう共に生きていかなければならないと考えています。

Contents

寄り添い、喜びと共に生きる ～いじめ・体罰を考える～ 中学・高等学校長 林田博文	1
ルテル学院幼児園(保育園)がスタートしました 幼稚園長 尾田明子	2
入学おめでとう 新入生の声	3
ルテルスポットライト	6
聖書の言葉	7
ルテル学院ヒストリー	7
インフォメーション	8

ルーテル学院幼児園 (保育園) が スタートしました

今年度4月から、認可外保育所として『ルーテル学院幼児園』がスタートしました。

「えっ?どこに?」と驚かれる方もおられることと思いますが、幼稚園園舎の中の1室「もも組」を定員18名の保育所(保育士2名・看護師1名)として県と市に届け出をいたしました。

幼稚園は法律で「満3歳から」と定められていますが、今年からはその3歳を待たずに保育所に入園できるようになったのです。(現在最年少は2歳1か月児)

幼稚園がまだ春休みの4月2日から開所し、4月現在12名の2歳児の子どもたちが登園してきています。(但し年度内は2歳児18名の定員は満たしていますので、1・2歳児の待機児が数名いることになりました。)

一口に幼稚園と併設した保育所といっても、子どもたちが過ごす日常は今までとほとんど変わりません。ただし、意外な場面や思わぬところが様変わりしているのも事実です。

3歳未満児はバスには乗れませんので、朝お母さんと一緒に登園します。慣らし保育を1週間ほどやってみて、園児の様子を見ながらそれぞれの保育時間を長くしていきます。現在2時降園と5時半降園の2つのパターンで行っています。勿論保育時間で料金も2種類ということになります。お昼寝をする子が居たり、起きて散歩に出かけたりと自由な時間が流れています。保育士は試行錯誤をしながらも、子どもたちの

園長 尾田明子



楽しい笑い声が毎日広い保育室に響いています。現在12名という恵まれた保育室ですので、ちよつとした癒しの空間になっていくようです。

平成27年には子ども・子育て支援制度がスタートし、いよいよ認定こども園・幼稚園・保育所の役割が明確化します。ルーテル学院幼稚園も時代の変化や子育て支援のスタイルを充分吟味しながら、最も良い形での子どもの育ちを保障し、子育てを支援する施設に変わって行く時を迎えています。地域のみならず、職員の皆様が利用しやすい保育・教育施設となれるよう、新たな思いでありますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

大切にしている保育・教育理念は創設以来変わらず、キリストの元に駆け寄ってくるおさなごのよつに、皆様と人々から愛される子ども達を大切に育てたいと思つて



先生といっしょに

これからの ルーテル学院幼児園に 期待すること

保護者 和田悦子



今春、末っ子が幼児園に入園し、我が家の在園期間は6年目に入りました。しかし、願書を提出するまで迷いと葛藤の連続でした。

現在夫が単身赴任中、7月に職場復帰を控えた私には、祖父母の協力は不可欠です。上の二人の子の学校行事にあわせて、園の行事とマリア会の活動への参加、バスの送迎が無い長期休暇の過ごし方がハードルでした。

親の就労等で一番変化にさらされるのは、子どもです。物理的にも精神的にも、生活の基盤が揺らぐのですから。だからこそ、子どもの居場所は、子どもの発達にあわせて選びたい。就労や出産等で入退園させずに済む「こども園」に期待を寄せてきました。

ルーテル学院幼稚園は、子どもの育ちに寄り添い、全職員が慈愛に満ちた目で見守って下さいます。それをベースに保育もして頂ける。子どもがまんなかの姿勢に全幅の信頼を置いて、願書を提出しました。園行事とマリア会活動(特にバザー)は、年度初めに年間計画を頂く等、解決はあると思つたのです。

働く母親が預けやすい園は、全ての保護者にとって預けやすい園だと思います。子どもがまんなかの精神を維持しつつ、預けやすさを確保していくのは困難だとは思いますが、ぜひもっと多くの方が幼児園の門を叩きやすくなり、このあたかな場所の恩恵を受けられることを期待致します。



和田悠史くん

入学・入園おめでとう

College

九州ルーテル学院大学
キャリア・イングリッシュ専攻

1年 岩下 智美さん



小さいころから大好きだった英語をもっと学びたいと思い、この専攻を志望しました。新しい環境の中で不安なこともありましたが、しかし、チューターの先輩方を中心に行われたフレッシュマンキャンプを通して、たくさんの友達をつくることができました。他のクラスの人や、先輩方とも関わる機会があり、とてもアットホームに感じました。一番心配だった履修登録の際には、たくさんの先輩方にアドバイスをしていただきました。

すぐに不安も消え、今ではこれからの学校生活がとても楽しみで仕方ありません。より良く充実させるためにも、特に英語に力を入れ、将来キャビンアテンダントなど、英語を生かせる仕事に就きたいと考えています。勉強だけでなく、サークルや行事にも積極的に参加し、友達の輪を広げていきたいです。そして、みんなで思い出を作り楽しい毎を送りたいです。



キャリア・イングリッシュ専攻の授業風景

High school

ルーテル学院高校
総合コース

1年 永岡 瑞希さん



私はたくさんの期待と不安を胸に、3月12日にルーテル学院中学校を卒業しました。中学時代と一緒に過ごしてきた皆と離れるのはとても淋しかったけれど、高校生という新たな生活への期待もたくさんありました。そんな悲喜こもごもの気持ちを抱に、私たちは4月5日に新入生として高校生活の新たな一歩を踏み出しました。

最初はやはり、皆と打ちとけられるか、勉強にはついていけるのだろうかといった不安が、私の気持ちの大半を占めていました。それでも、ルーテル学院中学校出身者として、模範となるようしっかりと責任感も感じつつ、意気込みを持って高校生活に臨みました。

新しい高校生活がスタートし、授業が始まり、中学とは違う授業の雰囲気や、スピードの速さに最初はついていくのが精一杯で、一日学校で過ごすだけでもとても疲れを感じる毎日でした。しかし、今ではその忙しい学校生活にも慣れ、友達もでき、とても楽しい充実した学校生活を送っています。まだ話したことのない人もたくさんいますが、これから、ルーテル独自の様々な行事を通してたくさんの方と友達を作り、皆で協力しながら有意義な高校生活にしていきたく思います。

Junior high school

ルーテル学院中学

1年 堤 琉さん



「これから一年の抱負」
僕のこれから一年間の抱負は「何でも一流を目指す」です。何をやるにしても、半端な気持ちでやっても、何の上達もありません。だから僕は、一年間の抱負としてこれを選びました。

僕は今、自分の意志でこの学校に入学してきました。そして、部活や勉強など、たくさんのことに取り組んでいます。部活はサッカー部で、もっとサッカーが上手になって、いつか全国大会でプレーできるように、毎日努力を重ねています。勉強も必要不可欠なので、日々の授業や家庭学習もしっかり頑張っています。もし、サッカーだけ頑張っても、サッカーで挫折したときに知らない間に身に付いていた特技があって、それを活かすこともできます。

僕は、この一年間、このことを頑張ります。特技をたくさん身につけて将来のためにも、今、いろんなことを頑張って経験することが大事だと思います。

Kindergarten

ルーテル学院幼稚園
荒川 美玲ちゃんの

お母様 荒川 未来さん



「思い出し重なる娘の姿」
小雨の降る入園式。日頃家では落ち着きのない娘ですが、式では緊張しつつも自分の名前が呼ばれると、大きな声で返事をする姿を見て大変感動しました。私自身もこのルーテル学院幼稚園にお世話になり、今でもお遊戯会など楽しかった思い出を鮮明に覚えております。ですので、ぜひ自分の子どもも楽しかったルーテル学院幼稚園に通わせたいという想いをずっと持っていました。今まさにその想いが叶って嬉しい限りです。

登園初日から、毎日「楽しかったよ」と笑顔で帰ってくる娘。日々成長している場面場面が家庭でも見受けられ、先生方には心より感謝しております。

これからの園生活の中で、ルーテル学院の「感恩奉仕」の建学精神をもとに、先生方や友達を通して人を思いやる気持ちを培いながら、明るく元気に成長していきたく思います。



荒川美玲ちゃん

阿蘇に大学新入生が集う

フレッシュシユマンキャンプ開催

九州ルーテル学院大学では4月11日から1泊2日で、毎年恒例の新入生歓迎会「フレッシュシユマンキャンプ」を開催しました。

参加者は新入生191名、在校生43名、教職員46名の合計280名、場所は大学から車で1時間ほどの阿蘇国民休暇村で、温泉付の宿泊施設です。



新しい友達とのつながりができました

このフレッシュシユマンキャンプは、新入生が大学生活をスムーズにスタートできるように、コミュニケーション能力を伸ばし、有意義な学生生活を送るための基盤となる「学習活動や日常生活に自ら前向きに取り組む姿勢を身につける」ことを目的としています。プログラムのほとんどを上級生が主体となつて、企画・運営し今回が12回目の開催となりました。

1日目は「建学の精神」をテーマに清重尚弘学長の講演に始まり、学科・専攻別に分かれての学習目標の確認、履修登録指導、シラバスの読み方など、今後の学生生活には欠かせない重要な項目ばかりでした。夕食後は在学生が半年かけて準備したレクレーションが開催され会場は笑いの渦に包まれました。

2日目は大畑誠也客員教授による講演、アドバイザーとの交流を行い帰路につきました。帰りのバスでは、初日の緊張感はすっかりなくなり、新しい友達や先輩、先生とのつながりを手にしました。

こうして新入生は大学生活を有意義にスタートできるだけでなく、この企画に携わる上級生も、実行力やプレゼンテーション力を高めることができます。

1年生の皆さん、先輩と一緒にこれから楽しく学んでいきましょう！



熱のこもった大畑先生の講演

がんばる！ ルーテル学院高校生！

5月31日、雨が心配されるなか熊本県高等学校総合体育大会の開会式が行われました。

6月3日までの4日間にわたる大会にルーテル学院高校の選手も11種目の競技に参加しました。インターハイ地区予選となるこの大会では各クラブが熱戦を繰り広げて健闘をしました。

なかでも水泳、陸上、自転車競技の3種目が優勝を含む多数の入賞を果たし、九州大会へと進みました。

水泳の九州大会は7月ですが、陸上と自転車競技は九州大会が終了し、それぞれ1名ずつインターハイへの出場が決定しました。

両クラブともに部員数も少なく練習も校外で行なっており、決して恵まれた環境ではありませんが、インターハイへ向けて熱心に練習しています。

皆さんの応援を宜しくお願いします。



陸上走り幅跳びに出場する3年生
みつざき せんり
満崎 千里さん



自転車競技に出場する2年生
まつもと けん
松本 憲斗さん

「卒業生保護者の会 デイアコノスクラブ」

デイアコノスクラブ会長 河村 泰司



わが子の卒業に伴い、社会的な繋がりがどうしても限定されがちになります。私たちはルーテル学院に関わることで、親として共通の意識をもった多くの仲間とともに歩み続けるとともに、子供たちにとっても同窓生としての誇りと、母校の素晴らしさをあらためて認識できる機会になるのではと考えています。

まだまだ微力ではありますが、学校にとっても信頼される会としての機能を確立し、有意義な運営を心がけていきたいと考えています。

ちなみにデイアコノスクラブとは「奉仕する人」という意味を持つ聖書の言葉からの引用です。

人の子が来たのも、

仕えられるためではなく、

かえって仕えるためであり、

また多くの人のため、

贖いの対価として、

自分のいのちを与えるためなのです。

(マルコの福音書 10章45節・新改訳聖書)

卒業生の保護者の会として2011年に発足し、2年間でルーテル学院となつての1期生から今年度の新入会員まであわせて140名を超える会員数となりました。主な活動内容としては、5月の新入会員歓迎の日帰りバスツアー、6月の定期総会、12月のクリスマス会、そして学院祭やホームカミングデイへの参加といった様々な活動を通じて、会員相互の親睦を図っています。また今年の1月の成人の日には学校にて、初めての卒業生の成人礼拝と懇談会を「のいばら会」のご協力を得て開催させていただきました。



河村 泰司氏

2013年度 新任教職員の紹介



新任教職員 全員集合！ (敬称略)

「学院創立90周年を迎えるにあたって」

記念事業委員長 福田邦子



ばら会は4人の会長に引き継がれ、今日に至っております。この間、九州女学院からルーテル学院へと学校名が変わり、男女共学になりました。また、九州女学院短大は男女共学の4年制大学になり、幼稚園は相変わらず人気の幼稚園教育が存続しています。その九州ルーテル学院が、2016年には創立90周年を迎えます。

この度、この記念事業委員長をお引き受けすることになりました。力不足でございますが、皆様のご協力を得て九州ルーテル学院の歴史と伝統に相応しい記念事業にしたいと思っております。

予定として、記念式典と礼拝を2016年10月3日熊本県立劇場コンサートホールで行い、午後5時から会場をホテル日航熊本に移して祝賀会を開催することになっています。

施設計画として、☆正門周辺の整備☆礼拝堂の演奏充実のために新しいパイプオルガンの購入☆幼保連携型認定こども園のための施設拡充の要望が出ています。

これらの記念事業はいずれもお金のかかるものばかりでございます。70周年、80周年の時と同様に、皆様の絶大なご支援をお願いしなければなりません。九州ルーテル学院の90周年の節目を輝かしいものにするために協力をよろしくお願致します。



美術室のリニューアル

ルーテル学院中学・高校教諭 石村桂輔

2013年4月より、これまで中高の第二体育館として使用してきた建物を、高校の芸術コース美術専攻の美術棟としてリニューアルしました。

年々、芸術コース美術専攻の受験生が増加し入学者数も増えてきたため、今までのスペースでは収まらなくなったこともあり、外見はそのままで、建物の中を体育館の要素を生かしながらデッサン室、油彩室、デザイン室と大きく3つのアトリエスペースを作りました。

油彩室とデザイン室は、建物の中に天井がある一つの大きな室内になっており、更にデザイン室は中2階で、床下が作品保管庫や生徒の道具置き場に使えるスペースとして立体的な空間になっています。

デッサン室はあえて合掌造りの骨組みのままにすることで天井の高さを感じられる開放的な空間となりました。ログハウスのような温かさに囲まれ、立体的で開放感があるアトリエは、創作活動を行う生徒たちにとって感性を磨く最高の場所になることでしょう。

ご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。



新しくなった美術室

聖書の言葉

中高チャプレン 崔 大凡

「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。」

(マタイによる福音書7章13節)

携帯のアプリのゲームに嵌ったことがありました。時間つぶしとして軽い気持ちでやってみたつもりだったのに、いつの間にかそれに嵌って、やるべき準備、仕事、睡眠まで後回しになってしまつ自分を見ました。面白いゲームをつかった生産者の勝ちでした。

それはそれで良いにしても、問題はゲームに夢中になることで失われるものがあるということだと思います。しばらくの間の私の思いとエネルギー、そして何よりも私の時間、そしてそこに含まれているたくさんのものが携帯に奪われました。なさけない出来事でしたが、そのとき何かに「嵌る」という恐ろしさも改めて知りました。

携帯ゲームに嵌ることで一晩の様子が変わるように、私たちの人生も何に嵌るかによって変わることかもしれません。一度過ぎてしまつたら取り戻すことのできない大切な時間を何のために使つか、何に夢中になって、何に自分の思いと力を注ぐか…。できるなら生産的で創造的なもの、自分と周りを幸せにしてくれるものに夢中になりたいところですが、私たちが

生きている世界はそうではないことをイエスは教えています。「滅びに通じる門は広い」。人々の人生を良い方向に導くものより、はるかに多くのものが人々を騙し、鈍らせ、曲げよつと待ち伏せている中、救いに通じる狭い門を選びなさいとのメッセージです。



崔チャプレン

「歴史の扉」 ～その時のルーテル学院は～

九州女学院(高女) 11回生 正村 千エ子

4月も半ば桜の花が青葉若葉に移り変わる頃、女学院創立からお世話になった一人の英語の先生のご命日を迎えます。ミス・マリオン・イー・パッツ。

先生は、英国系の熱心なクリスチャンの両親の元、フィラデルフィアで生まれ育ち、米国名門コーネル大学で英文学を学び、ペンシルバニア大学院で教育学を学ばれて、宣教師として日本人女子教育のために、はるばる熊本の地に来られたのでした。英語の教育に対して見識があらわれ、新入生(中学1年生)の最初の1学期は、アルファベットの文字や発音を一切教えず、万国音標文字という発音記号だけを教えられました。英語の正しい発音をマスターするための指導だったのです。2学期になってはじめて手にした教科書の最初の英文は、確かに Spring has come! でした。

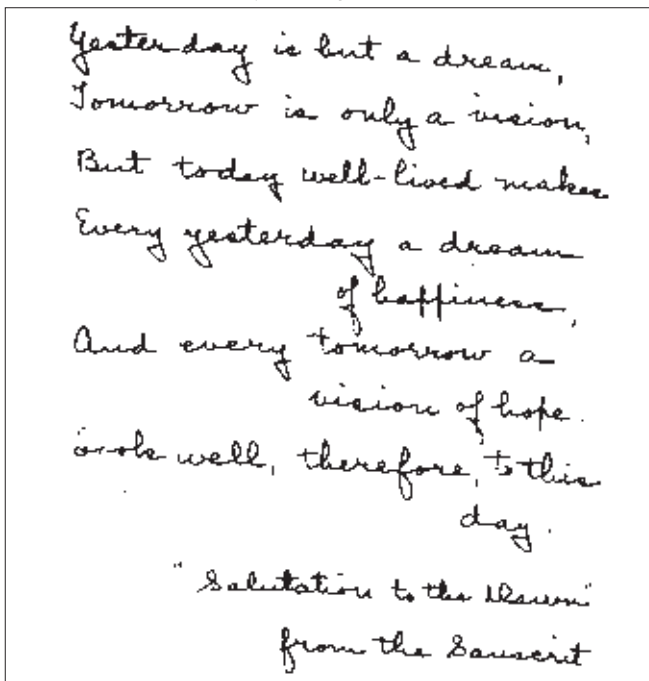
来たために、母国にお帰りになる事になりました。どんなに寂しい思いをされたことでしょう。出国の日が決まった頃先生が母に一通の手紙をくださいました。「家族皆で夕食会をした」との案内状でした。大正15年以前の親しい交わりをいただいた先生との会話は、悲しみや淋しさだけでなく、懐かしい思い出話と、イエス・キリストを信じる者たちの感謝の祈りに支えられたひと時でした。

食事が終わってお別れの時、先生は一枚の紙にサラサラと何か一筆走り書きをされると、「しばらくのお別れです。私の大好きなことばです。忘れないでください。」と言って私に手渡されました。先生のお人柄そのままの美しいお直筆。以来私は今日まで、額に納めて毎日口ずさんでおります。先生の学識の広さと深さに感動しました。

学院に連なる皆様が、いかなる時も、悔いのない幸せな人生を生き抜くための指針に、聖書の御言葉と共に覚えて下さることを祈り願っております。

「思い出は、感謝と共に、校道。」

パッツ先生直筆メッセージ



パッツ先生 1937(昭和12)年頃

昨日は夢にすぎず
明日はただの展望にすぎない
しかし、今日をよく生きれば
昨日は幸福の夢となり
すべての明日は希望という展望になる
だから、今日というこの日をよく見つめなさい
これが夜明けへの挨拶なのです

作者はKalidasaカリダサ(カーリダーサ)というインドの有名な古典文学の詩人/劇作家で、その“Salutation to the Dawn”「夜明けへの挨拶」という詩の一部。



オープンキャンパス サマースクールのお知らせ



オープンキャンパス（入試説明会 & 施設見学会）

大 学	7/20(土)	8/23(金)	9/28(土)	11/3(祝)	フィリア祭（学園祭）同時開催
高 校	7/20(土)	9/7(土)	11/23(祝)		
中 学	7/6(土)	10/19(土)	サッカー体験会同時開催		
サマースクール (小学4・5・6年生対象)	7/29(月)	8/2(金)			



昨年の様子

※詳しくはホームページをごらんください。

ルーテル学院幼稚園 「こひつじの会」～幼稚園が行う子育て支援（未就園児親子の集い）～

こひつじの会（毎月第2・第4火曜日開催）は、リズムあそびやロールマットでからだを動かします。その後は楽しいおやつと季節に応じた工作、絵本の読み聞かせのプログラムを準備しております。開催日の変更もありますので、事前にお問い合わせください（Tel 096-343-3968）。

会 計 報 告

本法人の2012年度決算は、表のようになりました。より詳しい報告は、大学ウェブサイト「情報公開」の「財務報告書」と「事業報告書」をごらんください。

消費収支計算書は、企業会計の損益計算書に近いものです。帰属収入から消費支出を差し引いた帰属収支差額（経常利益に近い）は、1億2千万円、帰属収入の6.5%でした。

貸借対照表では、運用資産（その他固定資産＋流動資産）が、昨年度より1億16百万円増えました。大学の耐震改修などに1億85百万円の施設設備投資と、借入金等の返済も、資金の余裕を改善できました。

このようにして、園児・生徒・学生の授業料は、確実に教育の充実と財務体質の改善に活かされていることを、感謝してご報告申し上げます。

（事務局長・古屋四朗）

消費収支計算書

2012年4月1日から2013年3月31日まで（単位・千円）

科 目	決算額
学生生徒等納付金	1,220,132
手数料	33,945
寄付金	21,940
補助金	481,534
国庫補助金	91,529
地方公共団体補助金	373,303
その他の補助金	16,702
資産運用収入	4,105
事業収入	66,719
雑収入	17,471
帰属収入合計	1,845,947
基本金組入額	△ 58,538
消費収入の部合計	1,787,409
人件費	1,137,576
教育研究経費	405,555
管理経費	170,204
借入金等利息	11,548
資産処分差額	407
徴収不能額等	△ 58
消費支出の部合計	1,725,232
当年度消費収入超過額	62,177
前年度繰越消費収入超過額	△ 1,746,375
翌年度繰越消費収入超過額	△ 1,684,198

貸借対照表

2013年3月31日現在（単位・千円）

科 目	2012年度末
固定資産	4,468,679
有形固定資産	4,257,053
土地	1,448,693
建物	2,118,506
その他有形固定資産	689,854
その他の固定資産	211,626
流動資産	638,954
現金預金	531,477
その他流動資産	107,477
資産の部合計	5,107,633
固定負債	807,941
長期借入金	564,740
その他固定負債	243,201
流動負債	211,889
短期借入金	54,350
その他流動負債	157,539
負債の部合計	1,019,830
基本金	5,643,001
第1号基本金	5,643,001
第4号基本金	129,000
基本金の部合計	5,772,001
繰越消費収入差額の部	△ 1,684,198
負債の部、基本金の部、及び繰越消費収支差額の部合計	5,107,633